

# 広報 あかいけ

60年

12月

No.274

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 28-2004

印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

## 文化に触れて 行く秋を惜しむ すばらしい作品・発表の数々 盛り上った私たちの文化祭



▶町民文化祭、芸能発表大会で「藤娘」を踊る泉会の平元円ちゃん(市場)◀

今年の町民文化祭は、11月1日夜のヤングフェスティバルを皮切りに4日まで、例年より1日長く盛大に開催されました。

絵画、書、盆栽、生花、写真などの展示。囲碁大会や少年将棋大会、茶会、芸能発表会などの催しに、会場を訪れた人びとは、“文化”に触れてとても充実した感じで、行く秋を惜しみました。

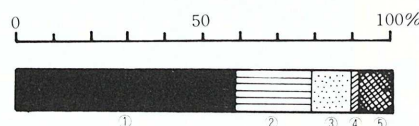
また、11月3日には、町民会館前広場で、商工まつりも行われました。今年も30店の出店のほか、「21世紀の私へのメッセージ」と題した絵画展も行われました。

これは、303点にのぼる町内の5・6年生児童が書いた絵を、16年後の21世紀まで商工会で保管し、郵便局の協力を得て、2001年の元旦に本人へ送り返すという催しで自分の16年後の姿や、21世紀の赤池町の様子など、どれもユニークな作品でいっぱいでした。

【6・7面に写真特集】

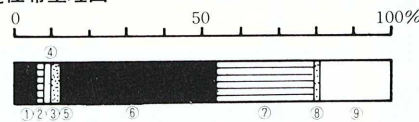
(として保存してください)

図-1 定住意向



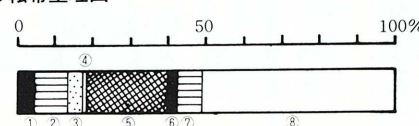
1 永住したい  
2 当分住みつづけたい  
3 できれば移転したい  
4 すぐに移転したい  
5 無回答等

図-2 定住希望理由



1 自然環境に恵まれている  
2 通勤、通学に便利である  
3 日常の買物が便利である  
4 福祉施設、体育施設等が整っている  
5 人間関係が良好である  
6 持家がある  
7 住み慣れて愛着がある  
8 その他  
9 無回答等

図-3 移転希望理由



1 下水道、道路などの基盤整備が遅れている  
2 通勤、通学に不便である  
3 日常の買物が不便である  
4 福祉施設、体育施設等が不十分である  
5 人間関係、土地の風習になじまない  
6 地価、家賃が高い  
7 その他  
8 無回答等

図-4 安全性の評価

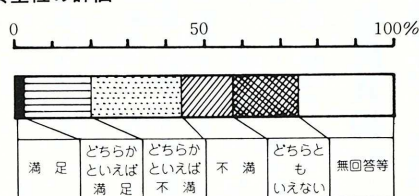


図-5 保健性の評価

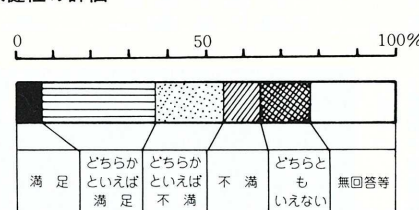


図-6 利便性の評価

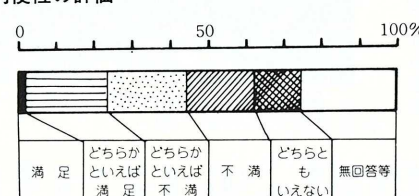
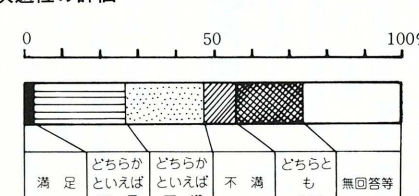


図-7 快適性の評価



# 約8割が「住 公園、広場、保健医療や青少年に対

回答者の属性

| 項目  | 回答者数(人) | 構成比(%) |      |
|-----|---------|--------|------|
| 地区別 | 上市      | 352    | 18.8 |
|     | 野場池     | 226    | 12.1 |
|     | 赤中      | 821    | 43.9 |
|     | 尾       | 471    | 25.2 |
| 性別  | 男       | 902    | 48.2 |
|     | 女       | 809    | 43.3 |
| 年齢別 | 20才代    | 111    | 5.9  |
|     | 30才代    | 382    | 20.4 |
|     | 40才代    | 340    | 18.2 |
|     | 50才代    | 390    | 20.9 |
|     | 60才以上   | 449    | 24.0 |
|     | 不明      | 198    | 10.6 |
| 職業別 | 農業      | 98     | 6.3  |
|     | 林業      | 216    | 13.9 |
|     | 自営業     | 88     | 5.7  |
|     | 会社員     | 418    | 27.0 |
|     | 公務員     | 118    | 7.6  |
|     | 臨時・日雇い  | 100    | 6.5  |
|     | 専業主婦    | 82     | 5.3  |
|     | 学生      | 6      | 0.4  |
|     | 職不明     | 180    | 11.6 |
|     | 合計      | 244    | 15.7 |
| 合計  | 1,870   | 100.0  |      |

※猿畑、高尾、伏原、町営伏原地区は赤池地区として調査しました。



### ③ 利便性

利便性を問う質問では、「どちらかといえば満足(二二・六%)とする人が最も多数ですが、概括的には不満系(三八・八%)が満

足を(二三・八%)よりも多くなっています。具体的には「保育所」「小・中学校」については満足度が高く、「公園、広場、子どもの遊び場」や「病院、医院」については不満

### ④ 快適性

快適性に対しては「どちらかといえば満足(二二・四・五%)とする回答が最も多数ですが、利便性同

様、概括的にみると不満系(二二・八%)が満足系(二七・三%)をやや上回っています。細項目では、「緑の豊かさ」となり近所とのつき合い」において満足度が高く、「道路の歩きやすさ」や「青少年に対する社会環境や風紀」については高い不満度を示しています。

# 「住み続けたい」 する社会環境などで高い不満度



## 町民意識調査

### 結果まとまる

対象/3,300人  
町内全世帯  
回収率/57%(1,870人)

### 定住意向について

#### ① 定住意向

「赤池町に今後も住み続けたいか」という定住意向を問う質問に対し、「永住したい」という意見が過半数(五八・〇%)あり「当分住み続けたい」(二〇・三%)という回答を合わせると約八割(七八・三%)の人が住み続けたいと考えています。年齢別では、年齢が高くなるほど住み続けたいという人が増し、六十歳代以上では約九割(八六・四%)を占めています。これは、裏返せば年齢が低くなるほど移転希望が増すことを示

#### ② 住み続けたい理由

住み続けたいとする理由を問う質問に対する回答では、「持家がある」というものが最も多く、約四割(四一・五%)を占めています。次いで「住み慣れて愛着がある」(二五・六%)という回答が続いています。「人間関係、土地の風習になじ

#### ① 安全性

安全性に対する評価は、「どちらかといえば満足(二三・六%)という回答が最も多く、概括すると満足系が約二割(一九・九%)と不満系が約四割(三七・三%)、残り約四割(四二・七%)が「どちらとも言えない」または無回答という構成になっています。具体的には「歩行者のための交通安全施設」「救急医療体制」に対する不満が多くみられました。

#### ② 保健性

保健衛生に対する評価では、「どちらかといえば満足」という回答が最も多く約三割(二九・九%)を占めています。全体としては満足系が約四割(三六・三%)で、不満系の回答(二七・六%)を上回っています。具体的には「日照、風通し」に対する満足度は高く、「ハエ、カなどの衛生環境」については不満度が高いという結果です。

#### ③ 移転したい理由

移転を希望する理由としては、「人間関係、土地の風習になじ

今年の七月に実施した「町民意識調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

今回の調査は、赤池町の行政運営上の指針となる、第二次総合計画策定の基礎資料を得ることを目的としたもので、町内の全世帯、(約三千三百世帯)を対象に、各支所長、駐在員さんによって配布および回収を行っていただきました。

回収率は約五十七%(千八百七十票)でした。町では、この調査を基に、さらに詳細な検討を加え、みなさんの卒直なご意見を町行政に反映させていきたいと考えています。

### 周囲の環境について

「通勤、通学に不便である」(八・四%)という理由が次に多い回答となっていました。